

タイトル「**2024年度大学院スポーツ科学研究科(公開用)**」、フォルダ「**大学院スポーツ科学研究科**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー			
科目名	スポーツ科学総論 2		
担当教員	種ヶ嶋 尚志, 青山 亜紀, 北村 勝朗, 水上 博司		
対象学年	1年, 2年	開講学期	前期
曜日・時限	土 2		
講義室	1007	単位区分	必
授業形態	講義	単位数	2
科目大分類			
科目中分類			
科目小分類			
科目の位置付け（開発能力）	■ D P コード：学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP1. 多文化、異文化を理解し、グローバル化する知識基盤社会の一員、スポーツに関わる一員として自らの意見を表現することができる。 DP2. 知識基盤社会の構成員として自らの専門における研究能力のみならず、確かな教養と高い倫理感を持ち、論理的な思考力を有し、スポーツにおける競技スポーツの位置づけ及び意味に対して自らの意見を説明できる。		
教員の実務経験			
成績ターゲット区分			
科目概要・キーワード	本科目では、スポーツ科学の研究を進めるための基礎基本を修得する。そのために、スポーツ科学における競技力向上に関するトレーニング学、コーチング学を学び、さらに心理学、社会学などの領域に焦点を当て、エビデンスに基づいた具体的な手法について、最新のスポーツ科学の国内外の知見を理解し総合的に学修する。具体的には、スポーツ科学の社会科学的領域の文献検索を通し、広く関連領域の知見を体系的に理解すると同時に、エビデンスに基づいた具体的な研究方法論について、オムニバス方式（全15回）により学修する。各領域の担当教員および受講学生との討論を通して、多様な視点や考え方をアクティブラーニングにより学修する。 （ 1 青山亜紀（6/15））スポーツ科学研究法の基礎として、競技力向上に関するトレーニング学について、国内外の知見を整理し、文献集としてまとめる。 （ 4 北村勝朗（7/15））スポーツ科学研究法の基礎として、競技力向上に関するコーチング学について、国内外の知見を整理し、文献集としてまとめる。 （ 6 種ヶ嶋尚志（7/15））スポーツ科学研究法の基礎として、競技力向上に関する心理学について、国内外の知見を整理し、文献集としてまとめる。 （ 12 水上博司（5/15））スポーツ科学研究法の基礎として、競技力向上に関するスポーツ社会学について、国内外の知見を整理し、文献集としてまとめる。 ■（キーワード）社会科学科目、トレーニング学、コーチング学、スポーツ心理学、スポーツ社会学		
授業の趣旨	■ 副題 研究の方法論的基盤の構築 ■ 授業の目的 各自の研究課題の設定や研究計画書を作成する研究の方法論的な基盤を構築するために、過去の研究について整理・理解し、新たな論点や主張を提示できるようになる。 ■ 授業のポイント 社会科学系の領域ごとに担当教員がその領域の体系的な理論について紹介した後、学生によるプレゼンテーションとディスカッションを通して、探求的な学修を行う。		

総合到達目標	■当該授業では、文献収集（文献研究）の価値を知り、論文の、タイトル（＝研究課題）・目的・対象・方法（＝研究計画）・結果・考察という構成を身につける。 ■先行研究の調査により文献を読み、それらの文献情報をExcelでまとめることを学修する。 ■トレーニング論、コーチング論、スポーツ心理学、スポーツ社会学に関し、エビデンスに基づいた具体的な手法について、最新のスポーツ科学の国内外の知見の論文等、情報を収集し学修する。	
成績評価方法	■取捨選択した文献について文献抄読によるプレゼンテーション：４回（４０％）適応DP1（評価の観点）定期的な文献抄読を授業内で実施し、文献の研究目的や図表等を理解・解釈されたプレゼンテーションができているかを評価する。 （フィードバックの方法）授業時間中に「講評」を行います。 ■文献検索による文献から、研究課題の設定や研究計画書の作成を視野に文献集の作成を行う：１回（３０％）適応DP2 （評価の観点）設定されたキーワードに沿った文献を収集し一覧表になるように文献集としてまとめられているかを評価する。 （フィードバックの方法）授業時間中に「講評」を行います。 ■作成された文献集に関して、比較検討や評価を行った結果をレポートとしてまとめる：１回（３０％）適応DP1・DP2 （評価の観点）文献集からより質の高い論文の収集ができ、的確かつ論理的な論述ができるかを評価します。 （フィードバックの方法）答案を確認し、自主学習につながるよう指導を行います。	
履修条件		
履修上の注意点	初回ガイダンスにて、授業の進め方（オンライン授業時の受講方法）や、欠席（欠席届）時の代替課題、受講ポリシー、成績評価の詳細などについて説明します。授業を円滑に進めるために、それらをよく理解した上で履修してください。 不明な点は担当教員に連絡し理解してから履修してください。	
授業内容	回	内容
	1	①授業テーマ スポーツ科学における社会科学系領域の最新の理論の体系的理解 ②授業概要 スポーツ科学総論2 担当教員全員によるシンポジウム形式の討論を通して、競技スポーツ科学の最新の知見について体系的かつ総合的に学修する ③予習（120分）事前に担当教員から指定された文献および資料を精読し、内容を理解し、疑問点と意見を整理しておく。 ④復習（120分）授業で行われたシンポジウム形式の討論を整理し、各自の理解内容を整理した上で、興味を持ったテーマについて文献検索に向けたキーワードの整理を行う。 【担当教員：青山 亜紀、北村 勝朗、種ヶ嶋 尚志】
	2	①授業テーマ トレーニング学の理論および競技力向上の指導実践 ②授業概要 トレーニング学の最新の理論および競技力向上の指導実践について概要を学ぶ。その上で、文献検索のキーワードを選定し、検索エンジンを用いて文献検索を行い、各自が選定し、精読した文献についてプレゼンテーションを行う。またプレゼンテーションに基づき、全員で討論を行う。 ③予習（120分）いくつかの検索エンジンから実際のキーワード検索を実践し、文献集作成のためのタイトル・目的・対象・方法・結果・考察の概要をダウンロードし、Excelなど特定のソフトウェアを利用しまとめてくる。 ④復習（120分）授業でのプレゼンテーションおよび討論の内容を振り返り、整理し、更に掘り下げて調べたい内容について、検索エンジンを用いて文献検索をし、精読する。 【担当教員：青山 亜紀、北村 勝朗、種ヶ嶋 尚志】
	3	①授業テーマ 国内のトレーニング学の文献研究 ②授業概要 文献検索のキーワードを選定し、検索エンジンを用いて文献検索を行い、各自が選定し、精読した文献についてプレゼンテーションを行う。またプレゼンテーションに基づき、全員で討論を行う。 ③予習（120分）いくつかの検索エンジンから実際のキーワード検索を実践し、文献集作成のためのタイトル・目的・対象・方法・結果・考察の概要をダウンロードし、Excelなど特定のソフトウェアを利用しまとめてくる。 ④復習（120分）授業でのプレゼンテーションおよび討論の内容を振り返り、整理し、更に掘り下げて調べたい内容について、検索エンジンを用いて文献検索をし、精読する。 【担当教員：青山 亜紀】
	4	①授業テーマ 国外のトレーニング学の文献研究 ②授業概要 文献検索のキーワードを選定し、検索エンジンを用いて文献検索を行い、各自が選定し、精読した文献についてプレゼンテーションを行う。またプレゼンテーションに基づき、全員で討論を行う。

	③予習（120分）いくつかの検索エンジンから実際のキーワード検索を実践し、文献集作成のためのタイトル・目的・対象・方法・結果・考察の概要をダウンロードし、Excelなど特定のソフトウェアを利用しまとめてくる。 ④復習（120分）授業でのプレゼンテーションおよび討論の内容を振り返り、整理し、更に掘り下げて調べたい内容について、検索エンジンを用いて文献検索をし、精読する。 【担当教員：青山 亜紀】
5	①授業テーマ コーチングの理論および競技力向上の指導実践 ②授業概要 コーチング学の最新の理論および競技力向上の指導実践について概要を学ぶ。その上で、文献検索のキーワードを選定し、検索エンジンを用いて文献検索を行い、各自が選定し、精読した文献についてプレゼンテーションを行う。またプレゼンテーションに基づき、全員で討論を行う。 ③予習（120分）いくつかの検索エンジンから実際のキーワード検索を実践し、文献集作成のためのタイトル・目的・対象・方法・結果・考察の概要をダウンロードし、Excelなど特定のソフトウェアを利用しまとめてくる。 ④復習（120分）授業でのプレゼンテーションおよび討論の内容を振り返り、整理し、更に掘り下げて調べたい内容について、検索エンジンを用いて文献検索をし、精読する。 【担当教員：北村 勝朗】
6	①授業テーマ 国内のコーチング学の文献研究 ②授業概要 文献検索のキーワードを選定し、検索エンジンを用いて文献検索を行い、各自が選定し、精読した文献についてプレゼンテーションを行う。またプレゼンテーションに基づき、全員で討論を行う。 ③予習（120分）いくつかの検索エンジンから実際のキーワード検索を実践し、文献集作成のためのタイトル・目的・対象・方法・結果・考察の概要をダウンロードし、Excelなど特定のソフトウェアを利用しまとめてくる。 ④復習（120分）授業でのプレゼンテーションおよび討論の内容を振り返り、整理し、更に掘り下げて調べたい内容について、検索エンジンを用いて文献検索をし、精読する。 【担当教員：北村 勝朗】
7	①授業テーマ 国外のコーチング学の文献研究 ②授業概要 文献検索のキーワードを選定し、検索エンジンを用いて文献検索を行い、各自が選定し、精読した文献についてプレゼンテーションを行う。またプレゼンテーションに基づき、全員で討論を行う。 ③予習（120分）いくつかの検索エンジンから実際のキーワード検索を実践し、文献集作成のためのタイトル・目的・対象・方法・結果・考察の概要をダウンロードし、Excelなど特定のソフトウェアを利用しまとめてくる。 ④復習（120分）授業でのプレゼンテーションおよび討論の内容を振り返り、整理し、更に掘り下げて調べたい内容について、検索エンジンを用いて文献検索をし、精読する。 【担当教員：北村 勝朗】
8	①授業テーマ スポーツ心理学の理論および臨床実践 ②授業概要 スポーツ心理学の最新の理論および競技力向上の指導実践について概要を学ぶ。その上で、文献検索のキーワードを選定し、検索エンジンを用いて文献検索を行い、各自が選定し、精読した文献についてプレゼンテーションを行う。またプレゼンテーションに基づき、全員で討論を行う。 ③予習（120分）いくつかの検索エンジンから実際のキーワード検索を実践し、文献集作成のためのタイトル・目的・対象・方法・結果・考察の概要をダウンロードし、Excelなど特定のソフトウェアを利用しまとめてくる。 ④復習（120分）授業でのプレゼンテーションおよび討論の内容を振り返り、整理し、更に掘り下げて調べたい内容について、検索エンジンを用いて文献検索をし、精読する。 【担当教員：種ヶ嶋 尚志】
9	①授業テーマ 国内のスポーツ心理学の文献研究 ②授業概要 文献検索のキーワードを選定し、検索エンジンを用いて文献検索を行い、各自が選定し、精読した文献についてプレゼンテーションを行う。またプレゼンテーションに基づき、全員で討論を行う。 ③予習（120分）いくつかの検索エンジンから実際のキーワード検索を実践し、文献集作成のためのタイトル・目的・対象・方法・結果・考察の概要をダウンロードし、Excelなど特定のソフトウェアを利用しまとめてくる。 ④復習（120分）授業でのプレゼンテーションおよび討論の内容を振り返り、整理し、更に掘り下げて調べたい内容について、検索エンジンを用いて文献検索をし、精読する。 【担当教員：種ヶ嶋 尚志】
10	①授業テーマ 国外のスポーツ心理学の文献研究 ②授業概要 文献検索のキーワードを選定し、検索エンジンを用いて文献検索を行い、各自が選定し、精読した文献についてプレゼンテーションを行う。またプレゼンテーションに基づき、全員で討論を行う。

	③予習（120分）いくつかの検索エンジンから実際のキーワード検索を実践し、文献集作成のためのタイトル・目的・対象・方法・結果・考察の概要をダウンロードし、Excelなど特定のソフトウェアを利用しまとめてくる。 ④復習（120分）授業でのプレゼンテーションおよび討論の内容を振り返り、整理し、更に掘り下げて調べたい内容について、検索エンジンを用いて文献検索をし、精読する。 【担当教員：種ヶ嶋 尚志】
11	①授業テーマ スポーツ社会学の理論および競技力向上 ②授業概要 スポーツ社会学の最新の理論および競技力向上の指導実践について概要を学ぶ。その上で、文献検索のキーワードを選定し、検索エンジンを用いて文献検索を行い、各自が選定し、精読した文献についてプレゼンテーションを行う。またプレゼンテーションに基づき、全員で討論を行う。 ③予習（120分）いくつかの検索エンジンから実際のキーワード検索を実践し、文献集作成のためのタイトル・目的・対象・方法・結果・考察の概要をダウンロードし、Excelなど特定のソフトウェアを利用しまとめてくる。 ④復習（120分）授業でのプレゼンテーションおよび討論の内容を振り返り、整理し、更に掘り下げて調べたい内容について、検索エンジンを用いて文献検索をし、精読する。 【担当教員：水上 博司】
12	①授業テーマ 国内のスポーツ社会学の文献研究 ②授業概要 文献検索のキーワードを選定し、検索エンジンを用いて文献検索を行い、各自が選定し、精読した文献についてプレゼンテーションを行う。またプレゼンテーションに基づき、全員で討論を行う。 ③予習（120分）いくつかの検索エンジンから実際のキーワード検索を実践し、文献集作成のためのタイトル・目的・対象・方法・結果・考察の概要をダウンロードし、Excelなど特定のソフトウェアを利用しまとめてくる。 ④復習（120分）授業でのプレゼンテーションおよび討論の内容を振り返り、整理し、更に掘り下げて調べたい内容について、検索エンジンを用いて文献検索をし、精読する。 【担当教員：水上 博司】
13	①授業テーマ 国外のスポーツ社会学の文献研究 ②授業概要 文献検索のキーワードを選定し、検索エンジンを用いて文献検索を行い、各自が選定し、精読した文献についてプレゼンテーションを行う。またプレゼンテーションに基づき、全員で討論を行う。 ③予習（120分）いくつかの検索エンジンから実際のキーワード検索を実践し、文献集作成のためのタイトル・目的・対象・方法・結果・考察の概要をダウンロードし、Excelなど特定のソフトウェアを利用しまとめてくる。 ④復習（120分）授業でのプレゼンテーションおよび討論の内容を振り返り、整理し、更に掘り下げて調べたい内容について、検索エンジンを用いて文献検索をし、精読する。 【担当教員：水上 博司】
14	①授業テーマ スポーツ科学の社会科学・コーチング学領域の体系的理論の総合的整理について ②授業概要 トレーニング学，コーチング学，スポーツ心理学，スポーツ社会学およびその周辺領域の文献研究によって得られた知見をエビデンステーブルとしてまとめ、その内容を発表する。 ③予習（120分）これまでの授業の中で読み深めてきた文献について、項目ごとに整理し体系化した文献集をエビデンステーブルとしてまとめる。 ④復習（120分）授業の中で発表されたエビデンステーブルについて振り返り、自身が作成したエビデンステーブルとの違いを整理し、更に掘り下げて調べたい事柄について調べ理解する。 【担当教員：青山 亜紀、北村 勝朗、種ヶ嶋 尚志、水上 博司】
15	①授業テーマ スポーツ科学の社会科学・コーチング学領域の体系化について ②授業概要 トレーニング学，コーチング学，スポーツ心理学，スポーツ社会学およびその周辺領域の文献研究によって得られた知見をエビデンステーブルとしてまとめ、その内容を発表する。 ③予習（120分）これまでの授業の中で読み深めてきた文献について、項目ごとに整理し体系化した文献集をエビデンステーブルとしてまとめる。 ④復習（120分）授業の中で発表されたエビデンステーブルについて振り返り、自身が作成したエビデンステーブルとの違いを整理し、更に掘り下げて調べたい事柄について調べ理解する。 【担当教員：青山 亜紀、北村 勝朗、種ヶ嶋 尚志、水上 博司】
関連科目	スポーツ科学総論 1、スポーツ科学研究法
教科書	

参考書・参考URL	
連絡先・オフィスアワー	
研究比率	



Copyright (c) 2016 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.